

## 構造物強度確性試験装置

構造物強度確性試験装置 こうぞうぶつきょうどかくせいしけんそうち

構造物強度確性試験装置（TTS）は、核燃料サイクル開発機構（現在の日本原子力研究開発機構）で、ナトリウム冷却高速増殖炉の開発の一環として、液体ナトリウムに接する原子炉構成機器へのナトリウム温度過度変化の影響、特に溶接部強度への影響を調べるために、大洗工学センター（現在の大洗研究開発センター）に建設された装置である。この装置により機器、配管等の構造物の健全性、設計の妥当性、構造材の温度応答などのデータが取得された。

---

<登録年月>

2006年01月

---

---